



2020年12月14日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120-598-106
アウディコミュニケーションセンター

アウディ、自動車博物館 Audi museum mobile 開館 20 周年 これを機会に展示内容を一新

- アウディの歴史を象徴する 34 台の車両が常設展示に新たに追加
- ラリー、DTM、ル・マン：モータースポーツの歴史的モデルを一堂に展示
- Audi TT、Audi RS 4、Audi A2 といった現代のアイコンモデルを展示

(ドイツ本国発表資料) 2020年12月10日、インゴルシュタット：2000年12月15日に開館したアウディの自動車博物館、Audi museum mobile (アウディ ミュージアム モバイル) が 20 周年を迎えます。AUDI AG は、21 世紀の 20 年間で、そのサクセスストーリーに数多くの新たな章を追加してきました。その間、名車としてアウディ史に残るモデルや、技術開発における新たなマイルストーンとなるクルマが登場しました。今回 Audi museum mobile 開館 20 周年を記念して、展示内容が一新され、アウディの歴史における、より現代のモデルが常設展示に加わりました。12 月 15 日から、アウディの歴史を彩る 34 台の新しい車両が展示されます。

20 周年記念の一環として、フロアの 1 階から 4 階の吹き抜けに設置される巨大な循環式展示リフトには、すべてのモータースポーツファンを楽しませる車両が一堂に展示されます。従来の展示では、AUDI AG のモータースポーツ史を彩る数々の名車は、その時々の特ピックに従って車両を入れ替えて展示されてきましたが、今後は展示リフトに乗せられて、モータースポーツにおける名車が常設展示されることとなります。開館以来、ミュージアム 3 階の同じ場所に展示されている Auto Union Silver Arrows (アウトユニオン シルバー アロー)を除き、1960 年代以降に登場し、アウディをスポーツブランドへと昇華させた数々の名車が、このリフトに展示され、来場者はミュージアムの 1 階から 4 階のどこにいても、それらのモデルを見ることができるようになります。これにより、モータースポーツに関する展示内容が、まったく新しい構成に生まれ変わり、新たに 14 台のモータースポーツに参戦してきた車両が展示されます。ここには、2007 年にドイツツーリングカー選手権 (DTM) でタイトルを獲得した Audi A4 DTM、2002 年の Audi Le Mans R8 LMP プロトタイプ、1996 年の Audi A4 STW、1980 年の Audi Rally quattro グループ 4、1985 年の Audi Sport quattro Rally グループ B、1975 年の NSU 1300 TT "Jägermeister"、1963 年の DKW F11/64 ツーリングカーなどが含まれています。

展示内容の変更により、これまで 2 階にあったモータースポーツ展示エリアを全面改修して、より現代のアウディアイコンモデルを展示することが可能になりました。来場者は、デザインアイコンである Audi TT Coupé に加えて、伝説となりつつある Audi A2 および初代 Audi A8 を見ることができます。これらのクルマは、アウディが再びラグジュアリーセグメントに復帰するために重要な役割を果たしました。

同じことが、アウディブランドのスポーティなキャラクターを再定義する 5 気筒エンジンを搭載した Audi RS 4 / Audi Convertible、SUV セグメントにおける大きな成功の先駆けとなった 2001 年の Audi allroad quattro にも当てはまります。またこのエリアには、アウディブランドが 1990 年代には既に e モビリティをテストしていたことを示す、Audi Duo III も展示されています。

さらに、テクノロジーファンの方々は、特別なエンジンを搭載した 3 つのモデルを見ることができます。戦前のクルマを集めたセクションでは、アウグスト ホルヒが最初に製作した革新的エンジンの実働レブ

リカを見ることができます。また、2 階の展示室には、1950 年代の DKW 並列 2 気筒 2 ストロークエンジンと、1968 年の NSU/Wankel ローターエンジンが、他のエンジンカットモデルと並んで展示されています。

歴史的な車両を長期間に渡り展示すると車両の劣化が進むため、一部の展示車両は、同等の価値のある他の展示車両と交換する必要があります。これにより、ドイツ初の 8 気筒エンジンを搭載した 1927 年製 Horch 303 はミュージアムを離れ、後継モデルとなる 1928 年製 Horch 305 に置き換えられます。この車両は、このタイプとしては現存する唯一のモデルである非常に特別なランドローレットボディ（フロントシート部分は屋根付きで、リアシート部分だけがオープントップになっているボディ）を備えています。また、1936 年の Audi Front Roadster も展示に加わっています。わずか 2 台しか現存しないこのクルマは、数年前に Audi Tradition が、オリジナルの状態にレストアを施した車両です。戦前の展示エリアには、そのほか 2 台の歴史的な車両も展示されます。1939 年、アウディの前身である Auto Union AG は、ベルリンで開催された自動車ショー発表された、流線形のボディラインを備えたスタディモデル Horch 930 S です。そしてもう一台は、1940 年の DKW F 9 プロトタイプです。両モデルともに、戦争が始まったことにより、量産されることはありませんでした。ミュージアムへの来場者は、これらの貴重な車両も見ることができます。

さらに、来場者は、歴史の証人として、非常に特別なモデルを見ることができます。1956 年に Auto Union GmbH によって製作された DKW Munga は、アウディの歴史の中で非常に重要なモデルとして展示されます。このオフロード車は、65 年前に設立されたドイツ軍によって注文されました。このモデルにより、インゴルシュタットで誕生した若い会社が、戦後の厳しい時代を乗り越えることが可能になり、現在へと続く AUDI AG の未来が形成されました。